

国際経済論 II

科目ナンバリング ECO-202

選択 2単位

奥田 英信

1. 授業の概要(ねらい)

この授業では、グローバル化した世界経済で生活していく上で、これだけは知っておいた方がよいという基礎知識を学びます。国際経済論 I では、「商品・サービスの国際間の取引」と「通貨・資金の国際間の取引」について基本的なメカニズムを勉強します。国際経済論 II では、世界経済の制度的な仕組みについて勉強します。国際経済論 I と II を履修すれば、生活でも仕事でも、世界の捉え方が全然違ってくと思います。

2. 授業の到達目標

- ①「商品やサービス」や「通貨や資金」の国際間の取引について、経済学の理論を理解し説明できるようになる。
- ② 理論とデータに基づいて、世界と日本の経済の歴史や現状を説明できるようになる。
- ③ 対外経済政策や開発援助政策などについて、日本と外国の経済関係について説明できるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

LMSを使った中間テスト(45%)と期末テスト(45%)、並びにLMSを使った自習問題(10%)の総点数で評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

岩本武和、他 グローバル・エコノミー(有斐閣アルマ) 有斐閣

参考文献

なし

5. 準備学修の内容

授業で扱う教科書の指定箇所(授業用のスライド)を、事前に一通り目を通してから授業に臨むこと。

授業の内容は、その授業中に理解してしまうつもりで出席しましょう。

授業で出す課題は、テストでも出題するので、復習のためにも各自で必ずやっておくこと。

6. その他履修上の注意事項

対面授業の場合は、授業の出席が8割を切ると、不合格となります。

テキストの中から、知っておく役に立つ重要な箇所を絞って繰り返して説明するので、しっかり勉強してください。

7. 授業内容

- | | | |
|--------|--------------------------------|--------------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション | |
| 【第2回】 | テキスト「第3部 グローバル化と経済開発:第5章 | グローバリゼーションと経済開発」(前半) |
| 【第3回】 | テキスト「第3部 グローバル化と経済開発:第5章 | グローバリゼーションと経済開発」(後半) |
| 【第4回】 | テキスト「第3部 グローバル化と経済開発:第6章 | グローバル・エコノミー下の発展途上諸国」(前半) |
| 【第5回】 | テキスト「第3部 グローバル化と経済開発:第6章 | グローバル・エコノミー下の発展途上諸国」(後半) |
| 【第6回】 | テキスト「第3部 グローバル化と経済開発:第7章 | 「東アジアの奇跡」とその教訓」(前半) |
| 【第7回】 | テキスト「第3部 グローバル化と経済開発:第7章 | 「東アジアの奇跡」とその教訓」(後半) |
| | 第1回クイズ(第3部) | |
| 【第8回】 | テキスト「第3部 グローバル化と経済開発」(復習) | |
| | 演習問題 | |
| 【第9回】 | テキスト「第4部 グローバリズムとリージョナリズム:第9章 | ヨーロッパ経済の現状と課題」 |
| 【第10回】 | テキスト「第4部 グローバリズムとリージョナリズム:第10章 | 単一通貨ユーロの現状と展望」(前半) |
| 【第11回】 | テキスト「第4部 グローバリズムとリージョナリズム:第10章 | 単一通貨ユーロの現状と展望」(後半) |
| 【第12回】 | テキスト「第4部 グローバリズムとリージョナリズム:第11章 | 地域統合とアジア国」(前半) |
| 【第13回】 | テキスト「第4部 グローバリズムとリージョナリズム:第11章 | 地域統合とアジア国」(後半) |
| 【第14回】 | テキスト「第4部 グローバリズムとリージョナリズム」の補足 | |
| | 第2回クイズ(第4部) | |
| 【第15回】 | テキスト「第4部 グローバリズムとリージョナリズム」(復習) | |
| | 演習問題 | |